

ゆうばり 市議会だより



RESTART
Challenge More.

72号 2026.5

ゆうばり小学校6年生と 夕張市議会との子ども議会を開催しました!



2月10日に主権者教育の取組として今年もゆうばり小学校6年生との子ども議会を開催しました。
小学生が議員役になり質問し、市長と教育長に答弁していただき、小学生に実際の議会と同じ経験をしてもらいました!



小学生の質問

- 使用していない市営住宅を市民が集まる場所にできないか?
 - 熊対策として熊鈴の貸出サービスはどうか?
 - 空き家を活用したカフェをつくるのはどうか?
 - 自然を活用してシューパロ湖でワカサギ釣りなどができないか
- など

・将来に向けた夕張メロン
生産の基盤づくりについて
・財源確保のための
ふるさと納税推進

工藤 次世代の農業者が行う投資に
対する支援について

市長 夕張農業の生産基盤の維持・強
化を図っていくためには、夕張メロン
の農家数及び作付面積の減少に対応
する施策を推進することが重要と考
えており、その中で、次世代の農業者
である後継者の就農を促進するとと
もに、後継者の意欲向上や投資促進を
図るため、後継者等が行う投資に対
し、より手厚い支援を行うこととして
います。

工藤 法人化の推進について、具体的
にどのような手法を考えているのか。

市長 農業経営の法人化は、持続的な
経営の発展が期待されており、一
方で、生産者や農業関係者において法
人化のメリット、社会保険や税制度な
どについて、理解が進んでいない状
況。今後、市や農業関係機関、生産者で
構成される「夕張市農業振興協議会」
などにおいて夕張の特徴に合った法
人化の取組みへの支援を関係者と協
議しながら進めてまいります。

工藤 法人化の推進について、市とし
てはどのように進めていくのか。

市長 北海道農業会議による研修会
や現地指導の実施を考えております。



工藤政則



研修実施後、今後の経営の方向性を検
討していただくよう進めていきたい
と考えております。

工藤 農業地域の排水対策について

市長 特に、沼ノ沢地区における排水
路においては、農事組合から要請を受
け、昨年8月に排水対策協議会を設立
し、関係農事組合、土地改良区と協議
するとともに、事業化に向けて空知総
合振興局とも連携し対策を検討して
おります。

工藤 ふるさと納税の寄付額を増や
す取り組みをどの様に考えているの
か。

市長 令和7年 10月からポータルサ
イトを追加導入し、PR活動も実施し
ております。品物ではなく夕張を訪れ
体験することを活用できないかなど、
旅行者を想定し、市内の宿泊施設利用
が返礼品となるよう調整中です。

工藤 企業版ふるさと納税の獲得に
向けた取り組みは

市長 本市も毎年複数の企業から寄
付を頂いているところで、全国では寄
付実績額が年々増加しております。令
和8年2月に金融機関と「企業版ふる
さと納税マッチングサービス」に係る
委託契約を締結しております。

小中学校給食費の
無償化が実現！

さらなる向上を期待して

櫻井 国は、令和8年4月から児童1
人当たり月額5,200円を支援し、
学校給食費の負担を軽減する方針を
示し、夕張市は「給食費無償化による
子育て負担軽減」に今年度から取り組
むと表明。物価高騰の影響をふまえ、
本年度の給食費について市の考え方
は？

教育長 令和8年度の給食費につい
ては、物価高騰の状況を勘案し、国の
制度内容や財政措置の詳細を見極め
た上で、小・中学校を一体的にとらえ
た無償化に係る経費に必要な予算を
計上し、保護者の経済的負担の軽減と
本市の教育方針との整合性の確保を
測っていききたい。

櫻井 夕張らしさを感じる給食が食
文化の継承に繋がると考えるが、設定
額内で夕張特有のメニューを増やす
お考えは？

教育長 まずは食の安全・安心の確保
と栄養バランスの取れた給食の提供
が基本。

地元の食材や地域にゆかりのある
献立を取り入れることにより、児童生
徒が地域の農産物や食文化への理解
を深めることに繋がり、食育や地産地
消の観点からも意義がある。可能な範



櫻井 暁



囲で地元食材を活用するとともに、夕
張らしさを感じられる献立の工夫に
務めたい。

櫻井 国が定めた「5,200円」が上
限では、更なる物価上昇で給食の質の
低下が起きるのでは？

教育長 物価上昇により国の支援上
限額の月額5,200円を上回る場合
でも、超過分を保護者負担とする考え
はなく、市として必要な経費を負担す
る方針。令和8年度の給食費は上昇分
を見込んだ上で予算を積算し、質を確
保した学校給食を提供していきたい。

櫻井 無償化の範囲を教職員や特別
支援員などにも広げるべきでは？

教育長 今回の給食費の無償化は、物
価高騰の影響を受ける子育て世帯へ
の経済的支援を目的とした制度であ
ることから、まずは義務教育段階の児
童生徒に係る負担軽減を優先するこ
とが基本。

現時点では、関連する国制度の詳細
や財源措置が示されていない状況に
あり、まずは制度内容の全体像を見極
めると共に財政状況等も踏まえ、十分
に協議を行いながら今後の対応を検
討する。

広報広聴について

荒井 市長は、市政執行方針において、情報格差の解消の必要性について言及されており、本市においては、高齢者を対象としたスマートフォン教室の開催など、デジタル活用を推進する取組みが行われているところであり、しかしながら、現状では市からの情報発信は、広報紙やホームページ、SNSなど様々な媒体を通じて行われているものの、市民が必要とする情報が確実に届いているのかという点については、なお検証の余地があるのではないかと考えます。

本市におけるSNSを活用した情報発信の現状と災害時の活用について、市はどのように考えているのか伺います。

市長 現在、市主催のイベントの周知や気象庁からの天候等の注意喚起などは、公式Xを活用している。熊の出没情報や市民生活に影響のある情報発信は、昨年10月から防災アプリケーションに切り替えた。これにより、情報が即時に通知されるため、高齢者向けスマートフォン教室でもその普及に努めたいと考えるところで、よって、災害時の公式Xでの情報発信は、積極的には活用していない。



荒井周司



荒井 高齢者向けスマートフォン教室を実施していることから、単にスマートフォン操作を教えるだけではなく、市の情報を受け取る手段としてSNSを活用する視点も必要と考えますが、市の見解を伺います。

市長 教室におきましては、防災アプリの推奨、QRコードから市のホームページへアクセスする方法、また、LINEの使い方などを覚えてもらっている。XなどのSNSは、スマートフォンについての一定の知識が必要であり、教室の短い時間で覚えるのは難しく、市からの情報を受け取る手段として防災アプリの活用、ホームページにアクセスしていただくことが重要と考える。

荒井 夕張市の公式LINEの導入について、考えておりますか？

市長 LINEの活用は、2期目の公約にも掲げているところでありまして、DXの推進や市民の利便性向上の観点からもLINEの活用は必要としているところであります。令和8年度は、導入に向けて、手法や課題の整理に着手をしたいと考えています。

移住定住の促進について

徳谷 夕張市過疎地域持続的発展市町村計画の内容の中には、現に「夕張に住みたい」という希望を持つ人が自ら居住情報を検索できるように、また、新たな移住・交流希望を喚起するために、情報発信体制の整備を行う。と書かれており、移住希望者にどのような情報発信体制の整備をしているのか伺う。

市長 南空知ふるさと市町村圏組合の事業である移住オンラインセミナーに参加し、ほかの市町と合同で市の概要や移住に向けた支援の情報などをセミナー参加者に伝えている。

徳谷 移住を検討している方は、まず移住希望先の不動産情報を調べるとともに、自治体が運営する空き家バンクなどの住宅情報を確認するケースが多いと考えます。空き家バンクの活用は重要であると考えますが、今後の活用や改善について、市としてどのように考えているのか伺う。

市長 第1期総合戦略の中で空き家バンク制度を活用した不動産の流動化促進として、情報発信体制の整備を行うとしていたもので、策定当初は市内に不動産業者がなく、市が取り組む必要がありました。その後、市内に不



徳谷康憲



動産業者ができ、行政が取り組む事業としての意義が低下したという検証委員会の議論もあり、市としては空き家バンク制度の活用ではなく、空き家の無料相談会などで相談があった場合は不動産業者の活用を提案し、空き家が流通するようしております。

徳谷 近年、都市部と地方を行き来する「二拠点居住」や、移住前に一定期間地域で生活を体験する「お試し住宅」の取組みが、各自治体で移住促進の有効な手段として進められております。二拠点住宅やお試し住宅の整備・活用について、市としてどのように考えているのか伺う。

市長 二拠点住宅やお試し住宅など、短期滞在のための住宅を市が新たに整備することは考えておりません。しかし、実際に夕張で暮らしを体験し、移住定住を検討していただくことは重要と考えております。そのため、例えば、市内の宿泊施設を閑散期に一時的にお試し移住のための住宅として利用するなど、既存の資源を有効活用することについて検討してまいります。

議会報告

◆ 第3回臨時市議会 2月26日

下記の議案について審議し、それぞれ原案のとおり可決しました。

- 議案第1号 夕張市財政再生計画の変更について
- 議案第2号 夕張市副市長の選任について

◆ 第1回定例市議会 3月4日～3月18日

令和8年度予算など議案25件、決議案1件について審議し、それぞれ原案とおり全会一致で可決しました。

議案第1号～第7号 令和8年度夕張市各会計予算については、議長を除く議員全員で構成される行政常任委員会に審査を付託し、3月16日に行政常任委員会を開催し、審査を行い、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

6月の議会日程

6月3日(水)	13時30分	行政常任委員会
6月9日(火)	10時30分	第2回定例市議会初日
6月11日(木)	10時30分	第2回定例市議会2日目
6月12日(金)	18時00分	第2回定例市議会3日目(夜間議会)
6月17日(水)	10時30分	第2回定例市議会最終日

※日程は変更になる場合があります。市議会ホームページでご確認ください。

議員活動報告



南空知4市5町議員研修会

2月19日に岩見沢市で行われた南空知4市5町議員研修会に全議員が出席しました。

南空知4市5町の議会議員が集まり、意見交換等を行いました。

夕張市議会だより編集委員会

委員長	工藤 政則
副委員長	櫻井 暁
委員	徳谷 康憲
委員	荒井 周司
委員	君島 孝夫
委員	千葉 勝
委員	高間 澄子

夕張市議会の情報はこちら



夕張市議会
ホームページ



夕張市議会
YouTubeチャンネル